

広報やまこし

村民の親睦と体力づくりのため毎年実施している総合レクリエーション大会はことしで六回目となり、八月二十一日虫亀小学校（雨天の場合は翌日）において開催することになりその準備がすすめられています。

楽しい一日を



「一九七五年農業センサス」
昭和五十年一月一日 「農林省」
○大きさタテ六十センチ、二
コ四二センチ
○文字を含め五色以内
お知らせ
く法務局(本局と支局)や人権擁護
委員は、いつでも、そのような相
談に応じます。相談は無料で、む
ずかしい手続もりません。
また、相談の内容は、厳に秘密
を守ることになっています。

「ました。病院は患者を診療するところです。院内のきまりを守って、診療にご協力ください。

二、面会にこられる方の中には、患者の名前を知らずに、屋号や俗称、旧姓を言われる方がいて、入院患者を全部調べるさわぎがときどきあり大変困りますのでご注意ください。

なお、患者さんの入院病棟は、当直室へおたずねください。

平日は医事課一番の窓口、休日は

九月の闘牛開催日

(小出病院)

場所

長岡市西千手二丁目五の三八

電話

三三二二二二二

などで、その後の消息が知れず、お困りの方はぜひ相談においてください。

当日は、警察本部員が出張して、全国各地で死亡し、いまもつて身元のわからない方々の写真、着衣、所持品などの記録をもとに相談に応じます。

なお、相談所の場所や受付日時などは次のとおりです。

お知らせ

「一九七五年農業センサス」「昭和五十年一月一日」「農林省」

○大きさタテ六十センチ、ヨコ四二センチ

○文字を含め五色以内

送り先
締切
昭和四十九年八月三十一日

県統計主管課、(主所、新潟)

病院は患者を診療するところで、院内のきまりを守って、診療にご協力ください。

二、面会にこられる方の中には、患者の名前を知らずに、屋号や俗称、旧姓を言われる方がいて、入院患者を全部調べるさわぎがときどきあり大変困りますのでご注意ください。

九月の闘牛開催日
変

卷之三

長岡警察署
電話 三一一一一一

農業センサスの
ポスター募集

農業センサスの 一章

◇面会出来ない時間
午前九時三〇分—午後一時
せします。

ゆくえ不明の人を捜す

過後も相談に応じています。
(長岡警察署)

しい大会となりますよう、多數のご参加と協力が期待されています。

来年の二月一日に行なわれる一九七五年農業センサス（沖縄県は今年の十二月一日）のポスターを募集しています。

◆応募資格

制限はありません。（応募作品は未発表のものに限ります）

○明るく農家に理解されやすいもの

○次の文字を必ず入れる

午後八時—翌日午前七時
但し、産婦人科・小児科病棟は
午前九時三〇分—午前十一時
午後一時—午後四時
午後八時—翌日午前七時
面会（お見舞いに）について
は、今までに二度程皆様にお願
いをしましたが、あいかわらず勝
手で迷惑な面会が多く、診療に支
障をきたしておりますやむをえず前記
のような制限をすることにきまり

警察では、次の日程により「くえ不明の人を捜す相談所」を行ないます。

役場のお盆休み

県古志郡
志村役場
竹沢局
7 23 78
印刷所

1974
8/1
第74号

第74号



約300人の関係者が集まり、盛会に行われた三古社会福祉大会
7月26日山古志中学校において

村の人口			
= 7月 1日現在 =			
世帯数	991	(男	2,087人)
人口	4,185人	(女	2,098人)
出生 3人 6月中の住民移動	(男 1・女 2)	死亡 4人 (男 3・女 1)	
転入 12人 (男 3・女 9)		転出 13人 (男 6・女 7)	



種芋原
五十八才
自作農

農業委員選任

農業協同組合推せん



竹沢、山中
四十六才
自作農

前農業委員の坂牧銀作さん（種
芋原）、高野栄治郎さん（竹沢）
は農協理事辞任にともなつて、次

のかたがそれぞれの農協から推せんがありましたので、五月三十一日付けで選任されました。

今月の納税	県・村民税二期分 国保保険料三期分 納期限八月三十一日
個人事業税 第一期分の納期限は八月 三十一日です。 期限内に納めましょう。	長岡財務事務所

山ち志よもやま(55)

仏铸造する際には、八幡神が天
地祇を従え、銅の湯を水とし
わが身を草木土石に交えて、その
大仏铸造をたすけよう」と託宣
したと伝えられ、のことより
以後、この宇佐八幡神が、国家
の大事業に關係するようになつ
たとされている。

更に、この八幡神に朝廷から
大菩薩の称号を賜わられた。だ
から八幡神は神仏習合の先駆の
神様ともなつたわけである。

しかも、貞觀二年、今から一
一一四年前は平安初期頃である
が、僧の行教によつて、山城国
石清水に勧請された。これが世
に有名な京都の男山八幡である
が、更にまた八幡の祭神が、応神天
皇（彦火火出見天皇）、神宮皇后（息

つほどであるから、仏教化した神として民衆に信仰され、祭祀が普及されるにいった原因ともいわれる。

池谷の、機織の音のする家のわきを通つて幾曲り小高い処、笠懸地藤、光明真言百万遍塔、慰靈碑を拝しながら鳥居をくぐれば、社殿である。なかで一番目につくのが、天井絵であつた赤穂浪士を中心とした絵であるが、巧拙は別として貴重なものだと思ったが、その絵板もはづれていたりして、見た目では余り丁寧な取扱を受けていないような印象を受けた。

十二山神社と、合祀されてゐる。石神四体が鎮座ましましていた。

それで、この八幡神信仰の本源は、九州の宇佐八幡とされてゐる。昔、奈良の大仏を铸造しようとする時、宇佐八幡の禪宣尼大神朝臣杜女^{あさかね}といふものが、奈良につかいして、「奈良の大仏铸造する際には、八幡神が天神地祇^{てんじ}を従え、銅の湯を水としわが身を草木土に交えて、その大仏铸造をたすけよう」と託宣したと伝えられ、のことより以後、この宇佐八幡神が、国家の大事業に關係するようになつたとされている。

更に、この八幡神に朝廷から大菩薩の称号を賜わられた。だから八幡神は神仏習合の先駆の神様ともなつたわけである。

しかも、貞觀二年、今から一四年前は平安初期頃であるが、僧の行教によつて、山城国石清水に勧請された。これが世に有名な京都の男山八幡である。更にまた八幡の祭神が、応神天皇^{（彦田別尊）}、神宮皇后^{（息}

王城鉄説のノートとして、
あがめられるようになった。な
おまた、武家が政治をつかさど
るようになると、清和源氏が自
家一族の氏神とした。それより
次第に武士が信仰するようにな
り、武神としての性格もをおび
るようになった。
それでも、大菩薩の称号をも
つほどであるから、仏教化した
神として民衆に信仰され、祭祀
が普及されるにいった原因とも
いわれる。



努力が実をむすぶ

貯金局長賞

梶木小学校生徒会貯金組合

最近、石油問題を契機に物を大切にしようとか節約しようとかと、節約時代がやってきたようです。このような時にこのたび梶木小学校の生徒会貯金組合が郵政省貯金局長から次のような賞状と記念品が贈られて児童たちは感激しております。

これは三十六人の児童が協力して貯金組合をつくって以来貯蓄の普及と日頃の努力が実を結んだものです。

学期末の七月二十二日学校において伝達式が行なわれ、竹沢郵便局長さんから晴れやかに賞状とトロフィーが手渡され、今後もガソリンバーよう誓いあつて大喜びです。

部落名	調整面積	調整数量	内訳		奨励補助
			養魚池	その他	
種子原	a 1,649.50	kg 64,209	a 1,649.50	a 0	5,190.9
虫巣	2,741.98	109,835	2,741.98	0	8,839.7
池谷	530.64	20,161	524.14	6.50	1,639.5
檜木	581.07	22,162	581.07	0	1,797.5
竹沢	2,227.79	92,927	2,223.79	4.00	7,432.9
梶金	575.99	20,978	567.99	8.00	1,718.4
木籠	452.05	16,684	446.05	6.00	1,363.5
小松倉	554.70	20,390	551.60	3.10	1,663.8
大久保	410.08	15,262	405.08	5.00	1,245.3
計	9,723.80	382,608	969.12	32.60	30,891.9

米の生産調整は、昭和四十五年から実施されていますが、ことしからは休耕による奨励補助金は打ち切られ、稻作から需要の高い作物への作付転換を計画的に推進すること、農業生産の再編成を促進すること、七ヘクタールで耕作面積の約三分の一を減らすことで、五百七十戸となり、このほど取り纏めた結果は次表のとおりです。

数量キロ当り六十八円と加算金（反当り五千円）をあわせて総額は三千万円余となりますが概算金として約六割に相当する金額が八月中旬（お盆ごろ）農協の貯金口座振込みによつて支払われ、精算金は十二月末までに支払われる予定です。

なお、目標の達成率によつてキロ当り約十円の協力特別交付金も昨年と同じく一月上旬に交付される予定です。

ことしの目標数量は四百十七ト
ン（面積換算一〇七ヘクタール）
が示され、地域の特産である錦鯉
飼育池への転換については、農地
転用にかゝらず普通転作並みに
取扱われるよう要望していたこと
が認められ昭和五十年まで奨励

八十三トンで、達成率は九十一%となります。

転作の内訳は養魚池がほとんどで全体の九九・七%を占めておりその他野菜・植林などとなつています。

注意したい　電話の切り方

電話の切り方にについて、原則はかけた方が受話器を置く、つまり切ることになります。これはかけた方が料金を払っているからともいえるし、またよそを訪問したときと同じ理屈です。用件は簡潔に、終りかけたら要領よく話を切上げる必要があります。それを遠慮しているとかけられた方も一方的に切るのは失礼と思っていると話は終りません。といつて先方がまだ話をしたいと思つているのに「じゃどうも」とがチャンと切つては不快感を残してしまいます。いきなり切らず、一・二・三と口の中で数えて静かに受話器をおろすように心掛けましょう。